

News Release



【令和元年 10月 10日（木） 午後 3 時発表】

南丹市指定文化財に有形文化財（園部藩小出家歴代藩主及夫人肖像画）が追加されました！

■概要

宗教法人 徳雲寺（南丹市園部町）が所有する「園部藩小出家歴代藩主及夫人肖像画 17幅」が9月26日の教育委員会議で議決され、26日付けで南丹市指定文化財に追加認定されました。

●内容

宗教法人徳雲寺は、園部藩の藩主をつとめた小出家の菩提寺で、藩主に関する史料が残されています。今回指定された「園部藩小出家歴代藩主及夫人肖像画」は、8代藩主英発を除く、初代吉親の父吉政から9代英教までの藩主とその夫人を描いた全17幅の肖像画群です。作成当初の所在は不明ですが、江戸の菩提寺廣徳寺に安置され、のちに園部藩に伝来したと推測されます。各肖像画には、沢庵宗彭以下大徳寺派僧の讃があり、藩主に関する様々な情報を伝える重要な歴史資料と言えます。

また、作者は江戸幕府御用絵師である狩野探幽を含む狩野派の絵師で、本作品にもその優秀さがあらわれています。これまで作品所在の報告が少なく、情報に恵まれなかった絵師の作品も含まれており、その意味でも絵画史上貴重と言えます。

武家肖像画は旧大名家や菩提寺に伝来している例が多くありますが、南丹市の「園部藩小出家歴代藩主及夫人肖像画」は、藩主と夫人像とがセットになって残っている稀有なものとして、その質・量をそなえた作品であるという点、歴史史料としての価値や絵画史としても貴重な作品が含まれている点で、文化財価値が高い作品と言えます。

この文化財の追加によって南丹市の市指定文化財は88件となりました。

これらの肖像画は、今秋に園部藩立藩400年を記念して開催される南丹市立文化博物館秋季特別展「園部藩の歴史と文化」で約10年ぶりに一般公開されます。

ぜひ、貴重な文化財を見にお越しください。

◆問い合わせ先

南丹市教育委員会 社会教育課 担当：辻・井尻・高屋 TEL(0771-68-0057)